

成果指標				
成果指標	医療知識・技術向上のための研修会等への参加回数			
指標設定の考え方	医療知識・技術向上のため予算の範囲内で参加する。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	5	4	5	0
実績	4	2	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	歯科医療の高度化に対応していくために研修は必要であるが、参加にあたっては研修内容を精査し、必要最小限にとどめるよう努める。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	高度化する医療技術に対応するため、研修により医療知識、技術の向上を図ることは必要であるが、診療所の運営に支障をきたさないよう、研修の必要性を再確認し、参加する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題